

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月22日

計画の名称	災害に強い伊勢のまちをつくる下水道整備（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当				
交付対象	伊勢市														
計画の目標	当地域に想定されている大規模地震や近年の異常気象への対策を実施し、災害に強い安全で安心な都市基盤を整備する。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		157	A	157	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R02当初	R04末	R06末
1	ストックマネジメント計画の策定率を0%（R02）から100%（R03）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画の策定率（%）	0%	100%	100%
	ストックマネジメント計画の策定数（計画）			
2	ストックマネジメント計画に基づく管渠（マンホールポンプ場）の機器更新による機能確保率を0%（R02）から100%（R06）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づく管渠（マンホールポンプ場）の機器更新による機能確保率（%）	0%	15%	100%
	ストックマネジメント計画に基づく管渠（マンホールポンプ場）の機器更新を実施した箇所数（箇所）／ストックマネジメント計画に基づく機器更新を実施すべき箇所数（箇所）			
3	耐水化計画の策定率を0%（R03）から100%（R04）に増加させる。			
	耐水化計画の策定率（%）	0%	100%	100%
	耐水化計画の策定数（計画）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	終末処 理場	改築	五十鈴川中村浄化センタ ー更新(ストマネ計画)	ストックマネジメント計画策 定 1式	伊勢市	■	■				4		策定済	
	A07-002	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 汚水）	改築	マンホールポンプ場更新(ストマネ計画)	マンホールポンプ場 66箇所	伊勢市	■	■	■	■	■	120		策定済	
	A07-003	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場耐水化対策 （耐水化計画）	耐水化計画策定 1式	伊勢市		■	■			33		策定済	
											小計						157			
											合計						157			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊勢市上下水道事業審議会により評価を実施	令和7年7月
	公表の方法
	ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	想定されている大規模地震や異常気象への対策を下記のとおり実施したことによって、災害に強い安全で安心な都市基盤を整備することができた。 ・ 施設更新として、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設更新を進めた。 ・ 耐水化対策として、耐水化計画を策定し、計画的な整備に着手した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし

○ 特記事項（今後の方針等）

- ・ 施設更新として、ストックマネジメント計画に基づいた雨水ポンプ場の各機器等の更新を継続し進めていく。
- ・ 耐水化対策として、耐水化計画に基づいた各雨水ポンプ場の耐水化を継続し進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	ストックマネジメント計画の策定率		
	最 終 目標値	100%	計画通り、ストックマネジメント計画を策定したことにより、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
2	ストックマネジメント計画に基づく管渠（マンホールポンプ場）の機器更新による機能確保率		
	最 終 目標値	100%	計画通り、ストックマネジメント計画に基づきマンホールポンプ場の機器更新を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
3	耐水化計画の策定率		
	最 終 目標値	100%	計画通り、耐水化計画を策定したことにより、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	